



広島労働局・福山労働基準監督署



リスクアセスメント  
隊落・転落  
災害を防ぐ



リスクアセスメント  
・・・しませんか？



# リスクアセスメントの主な実施手順

## ①危険性又は有害性の特定

## ②リスクの見積り

足場で作業が終わったら、足場の階段を使わずに、躯体バルコニー等経由で、屋内の階段やエレベーターで降りることがある

足場で作業していたらよく近づく = 頻繁 (4点)  
躯体と足場の間に隙間があるし、側面に手すり等がない = 可能性が高い (4点)  
高所から墜落したら致命傷 = 致命傷 (10点)

## ④リスク低減対策の検討・実施

- 1 足場に渡りを設ける (評価点数: 8点)
- 2 足場の昇降階段を増やして、手すり等設置のうえ、足場から屋内への移動を禁止 (評価点数: 3点)

## ③対策の優先度の設定

直ちに改善が必要  
(評価点数: 4 + 4 + 10 = 18点)

## STEP 1 危険性又は有害性の特定

作業手順書、労働災害事例、ヒヤリハット報告等からすべての作業を対象に、危険性又は有害性を特定し、発生のおそれのある災害を特定しましょう。

### 例

#### 作業員のつぶやき

「足場で作業が終わったら、足場の階段を使わずに、躯体バルコニー等経由で、屋内の階段やエレベーターで降りることがある」

### 特定

足場から**墜落・転落**の危険！！



そのほかにもこんな**危険源、有害源**も・・・



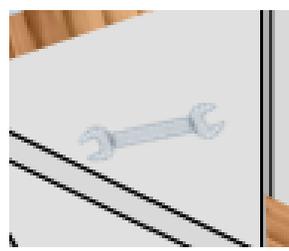
転倒



飛来・落下



化学物質



飛来・落下

## STEP 2 リスクの見積り

例



特定した危険性又は有害性の点数付けをしましょう。

### 1 危険性又は有害性に近づく頻度と評価の点数

頻度	点数	内容の目安
頻繁	4	毎日、頻繁に立ち入ったり接近したりする。
時々	2	故障、修理、調整等で時々立ち入る。
ほとんどない	1	立入り、接近することはめったにない。

例の場合：足場で作業していたらよく近づく＝頻繁（4点）

注意：危険性又は有害性に近づく頻度は作業の頻度とは異なります。

### 2 災害発生の可能性と評価の点数

可能性	点数	内容の目安
確実である	6	かなりの注意力をたかめていても災害になる。
可能性が高い	4	通常の注意力では災害につながる。
可能性がある	2	うっかりしていると災害になる。
ほとんどない	1	通常の状態では災害にならない。

例の場合：バルコニーと足場の間に隙間があり、側面にも手すり等がない  
＝可能性が高い（4点）

### 3 災害発生時の重大性（被災の程度）と評価の点数

重大性	点数	災害の程度・内容の目安
致命傷	10	死亡、失明、手足の切断等の重篤災害
重傷	6	骨折等長期療養が必要な休業災害及び障害が残るけが
軽傷	3	上記以外の休業災害（医師による措置が必要なけが）
軽微	1	表面的な傷害、軽い切り傷及び打撲部（赤チン災害）

例の場合：高所から墜落したら致命傷＝致命傷（10点）

注意：災害防止の立場から重篤度は最悪の場合を想定して評価が必要です。

## STEP 3 対策の優先度の設定

見積もった点数を合計して、危険性又は有害性の評価点数を出しましょう。

評価点数（リスクポイント）＝頻度＋可能性＋重大性

例の場合：頻度（4点）＋可能性（4点）＋重大性（10点）

＝直ちに中止又は改善が必要（18点）

リスク	評価点数 (リスクポイント)	評価内容	取扱基準
Ⅳ	12～20	直ちに解決すべき問題がある (受け入れ不可能なリスク)	直ちに中止又は改善する
Ⅲ	9～11	重大な問題がある (低減対策を要するリスク)	優先的に改善する
Ⅱ	6～8	多少問題がある (低減対策を要するリスク)	計画的に改善する
Ⅰ	5以下	必要に応じリスク低減を実施する (ただちに低減対策を要しないリスク)	残っているリスクに応じて 教育や人材配置をする

# STEP 4 リスク低減対策の検討・実施

リスク低減対策の検討を行う場合、法令に定められた事項は必ず実施するとともに、見積もりの結果、リスクの高いものから優先的に対策を行いましょう。

建設業の場合は、**墜落・転落災害**が発生する**リスク**の低減が**最優先**

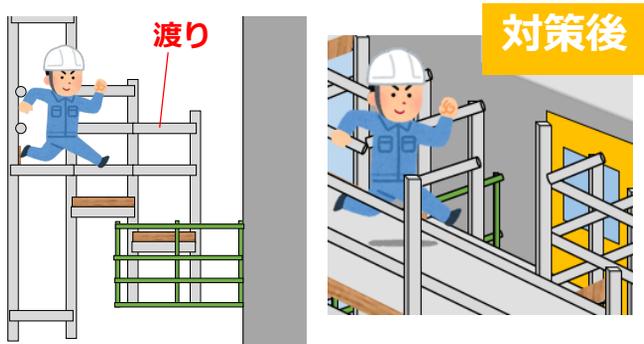
例えば、STEP 2で見積もったリスクの低減をすると、



リスクの見積り			評価点数
頻度	可能性	重大性	
4	4	10	18 (IV) 直ちに改善

## ✓ リスク低減対策 1

足場に渡りを設ける



リスクの見積り			評価点数
頻度	可能性	重大性	
1	1	6	8 (II) 計画改善

### ☆頻度

渡り設備設置で、墜落箇所がなくなった

= ほとんどない (1点)

### ☆可能性

渡りで足を滑らせて転落する可能性が少なからずある

= ほとんどない (1点)

### ☆重大性

渡りで転落したら骨折等長期療養が必要

= 重傷 (6点)

### ☆評価点数

頻度 (1点) + 可能性 (1点) + 重大性 (6点)

= 計画的に改善 (8点)

## ✓ リスク低減対策 2

足場の昇降階段を増やし、手すり等設置のうえ、足場から屋内への移動を禁止



リスクの見積り			評価点数
頻度	可能性	重大性	
1	1	1	3 (I) 必要に応じて改善

### ☆頻度

手すり等が設置されたことで、墜落箇所がなくなった

= ほとんどない (1点)

### ☆可能性

墜落防止措置がなされている

= ほとんどない (1点)

### ☆重大性

軽い切り傷、打撲 = 軽微 (1点)

### ☆評価点数

頻度 (1点) + 可能性 (1点) + 重大性 (1点)

= 残っているリスクに応じて教育や人材配置をする (3点)